

チーム検査「PI&R」に係る試運用の振り返りについて

今回、チーム検査「PI&R」に係る試運用を実施していただきました。

この対応を通して、弊社としてチーム検査の進め方、原子力規制庁の確認の視点および必要な情報等の理解が進んだと考えております。

試運用を通しての弊社からの意見は以下のとおりです。

- ① 今回のチーム検査において、「パフォーマンス欠陥」と評価された3件については、真摯に受け止め、今後の業務改善に努めてまいります。また、評価結果において、「パフォーマンス欠陥と判断した場合であっても、その全てが重大な不備であるという訳ではない」との説明があり、事業者としても同じ認識であります。一方で、検査報告書の中で「パフォーマンス欠陥」等の記載については、外部の方々がROP評価プロセスを十分に理解していない状況においては、過大な受け止めをすることも考えられることから、検査結果の公表の際に、ROPの評価プロセスが理解されるような対応をお願いいたします。
- ② 検査実施にあたり、弊社の業務都合を考慮していただきありがとうございました。一方、弊社は平常業務と平行して検査を受検していることから、事前に質問事項をいただく等の対応を実施いただくことで、限られた検査期間の中で効率的に検査を受検できるものと考えます。